

コガネムシ類の防除適期とは？

こんなに違うコガネムシ類の発消長



ゴルフ場におけるコガネムシ類による被害にはどのようなものがある？

1

幼虫が芝草の根を **食害** する

2

成虫が潜ったり出たりを繰り返すことにより、芝が浮き上がり **芽出し不良** を起こす

3

昼行性のものは、日中にティーやフェアウェイの地表面付近を飛び回るため **プレーヤー** にとっては **目障り** になる

4

成虫の脱出孔が **土盛り** となり、**プレー** に **支障** をきたす

防除適期を迎えるコガネムシ類

春～初夏 ・ウスチャコガネ ・ヒラタアオコガネ

夏～秋 ・セマダラコガネ ・チビサクラコガネ ・マメコガネ ・ヒメコガネ ・ドウガネブイブイ

Envuがおすすめる殺虫剤



タフバリアフロアブルなら、致死濃度以下になっても制虫的に作用して害虫の摂食活動を抑えるため、食害を長期間にわたり抑制します。

タフバリアフロアブルの特長

- ✓ 長い残効性
- ✓ 散布水量100 mL/m²で散布可能
- ✓ 低薬量で高い殺虫効果
- ✓ チガヤシロオカイガラムシ、シバオサゾウムシにも効く

発生消長と殺虫剤散布タイミング

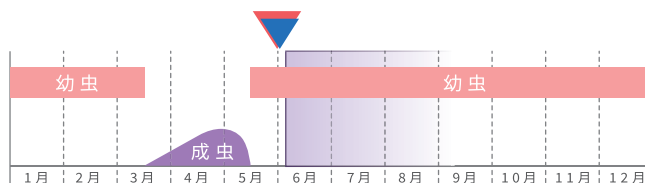
※関東地方南部の標準的な発生消長を示したもので、地域、天候等により発生の時期は前後します。

▼ 一般的な防除適期 ▼ タフバリアフロアブル散布適期 □ タフバリアの残効期間



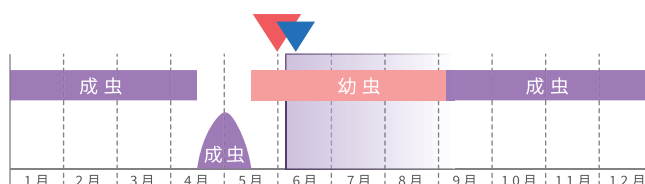
ウスチャコガネ

幼虫が芝の根を食害するだけでなく、成虫が昼間に飛び回ることによってプレーヤーの目障りにもなる。



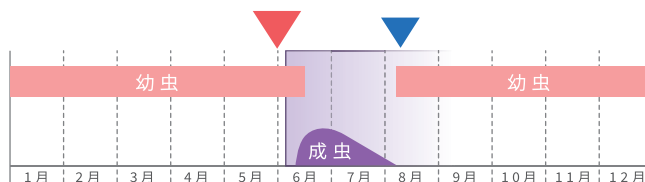
ヒラタアオコガネ

成虫で越冬し、幼虫の期間が短いので散布タイミングを逃さないように注意が必要。



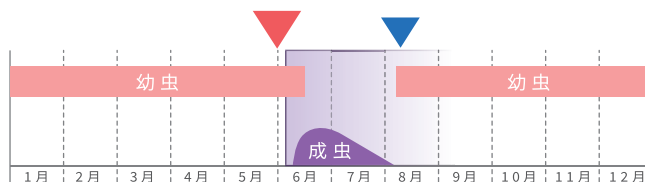
セマダラコガネ

成虫は摂食活動をほとんど行わないが、幼虫は発生密度が高くなるとティー、フェアウェイなどで大きな被害を及ぼす。



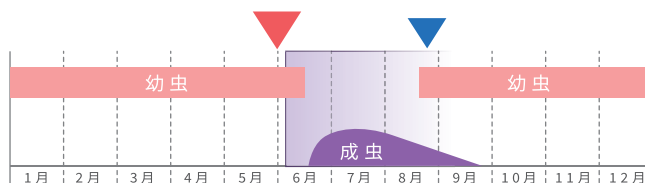
チビサクラコガネ

砂質土壌を好み、シーサイドコースなどでの発生が目立つ。



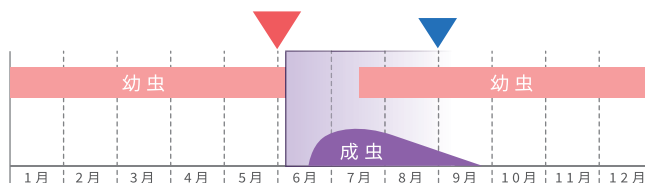
マメコガネ

成虫は広食性で発生期間が長いのが特徴。幼虫をしっかりと防除しておくことがポイント。



ドウガネブイブイ

ゴルフ場で発生するコガネムシ類の中では大型であるため、幼虫の摂食量が多く注意が必要。



1回散布でコガネムシをしっかりと防除



コガネムシ類は種類によって発生消長が異なるため、一般的な殺虫剤の散布タイミングも様々です。タフバリアフロアブルは残効性が長いため、初夏に1回散布するだけで、ウスチャコガネ～ドウガネブイブイまで多くのコガネムシ類の発生数を抑えることが可能です。